エンパワーメント講座 もりぐちeセミナー

問・申人権市民相談課　TEL06−6992−1512

場①〜④中部エリアCC会議室
⑤市役所1階会議室104・105
定先着40人（要予約）
備手話通訳を希望の場合は各講座の14日前までに申し込みが必要

	日時	テーマ	講師
①	9月29日（火）10:30〜12:00	自然と共に〜心も身体も元気になろう〜	大阪国際大学 経営経済学部 経営学科 教授　横山誠（よこやままこと）氏
②	10月6日（火）10:30〜12:00	ジェンダー格差を維持する心の仕組み〜平等に向けてできることとは？〜	神戸松蔭大学 人間科学部 心理学科 教授　土肥伊都子（どひいつこ）氏
③	10月16日（金）10:30〜12:00	「男はかくあるべし」を緩めて、心の健康をめざす	京都橘大学 総合心理学部　准教授 濱田智崇（はまだともたか）氏
④	10月20日（火）10:00〜11:30	“自分ごと”として考えるアンコンシャス・バイアス	大阪公立大学ダイバーシティ研究環境研究所 客員准教授 巽真理子（たつみまりこ）氏
⑤	10月27日（火）10:30〜12:00	人はいつまでも変わり続ける〜生涯発達の視点から考える自分らしい人生〜	大阪国際大学 短期大学部 幼児保育学科　講師 大塚穂波（おおつかほなみ）氏

入居者急募 守口市営住宅

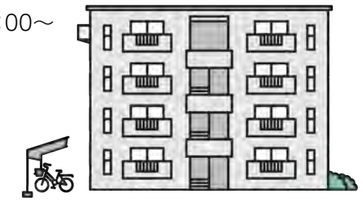
問守口市営住宅管理センター　TEL06−6992−1709

市営住宅は住宅に困っている所得の少ない人のために建てられた賃貸住宅です。

このため、他の民間賃貸住宅とは異なり、公営住宅法、守口市営住宅条例などで入居者資格が定められており、いろいろな制限があります。

入居者資格や募集予定団地などについては「入居者募集のしおり」を確認してください。「入居者募集のしおり」は9月中旬ごろに下記の施設にて配布、ホームページにて掲載予定です。

配市役所5階守口市営住宅管理センター・各CC・市民体育館・市立図書館・大日サービスコーナー
申9月15日〜29日(火)
抽選
時10月20日(火)10:00〜
場市役所4階入札室



「ひきこもり」をテーマにした講演会 家族や支援者に伝えたいこと

問地域福祉課　TEL06−6992−1570

不登校やひきこもりを経験した当事者が、自身の思いや、家族・支援者・身近な人に望むことについて語ります。外からは見えにくい気持ちや、周囲ができること、考えてほしい視点を当事者の声で聞く機会です。

後半は司会を交え、会場からの質問にも答えます。関心のある人はどなたでも参加できます。

会場では、講演会終了後に交流会を開催します。当事者や経験者はもちろん、家族や支援者、地域の人など、ひきこもりに関心のある人で集まってみませんか。

時9月23日（水・祝）13:30〜16:30（開場13:00）
場市立図書館4階多目的ホール
講NPO法人あかね　代表理事　中山遼（なかやまりょう）氏
定先着200人

プレコンセプションケア講演会 知っているようで知らない性の話

問こども家庭センター　TEL06−6995−7833

プレコンセプションケアとは、将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康と向き合うことで、次世代を担う子どもの健康にもつながる近年注目されているヘルスケアです。

自分のからだとこころを知ることで、人生100年時代を自分らしく生きることにつながります。

新生児訪問などで地域で活躍する助産師と一緒に、自分や大切な人を守るためのヒントを学びませんか？

時10月10日（土）14:00〜15:30
場市役所1階会議室103
対市内在住（高校生・大学生・子育て中の人・興味のある人）
備大塚製薬のミニ講座とお土産あり
申二次元コードよりオンライン申請・電話

性の基礎知識
・体のしくみ
・性の多様性って？
・同意ってなに？

将来の妊娠と健康のこと
・妊娠のしくみ
・不妊の原因になること
・今からできること

内内容　時日時　場場所　対対象　講講師　演演者　¥費用（無料の場合は掲載を省略）　定定員　保一時保育　持持ち物　配配布　備備考
注注意事項　申申込・申請　問問い合わせ　TEL電話番号　フリーダイヤル　FAXファクス　メール　CC…コミュニティセンターの略

第3回 ケアワークにおけるジェンダーギャップ−男性の長時間労働とケアワーク すべての人のウェルビーイングが達成される社会をめざして

問人権市民相談課　TEL06−6992−1512

第3回《全5回》

女性と男性の間でケアワーク（家事育児など）に関する時間のギャップはどれほどあるのでしょうか。2021年のOECD（経済協力開発機構）の国際比較のデータ（令和5年版男女共同参画白書参照）では、週平均1日当たりの家事育児などの時間は、男性41分、女性224分と、女性は男性に比べ約5.5倍ケアワークを行っています。OECD全体では女性が男性に対するケアワークの倍率平均は1.9倍で、女性のケアワークの多さは世界的にみても突出しています。

京都華頂大学
名誉教授
斧出節子（おのでせつこ）氏

女性がケアワークを担うのは、西欧諸国とは違ってアジア特有の文化だと思っている人がいるかもしれません。しかし、私が参加した中国・韓国・シンガポール・台湾・タイでの調査で明らかになったのは、中でも日本の父親は家事や子育てへの関わりが少ないことです。例えば、中国では女性も働くことが当然という理念のもとで、女性にのみケアワークが偏るという傾向は低いですし、タイでは女性は子どもを産んでも仕事を継続しており、家事育児は男女に関わらず「手の空いた人がする」というものでした。また、ケアワークが父母子どもという核家族内にとどまることなく、地域や親族なども担っていることが多くありました。アジアであっても必ずしも性別分業の固定観念があるわけではなく、しかも家族外でのケアワークの存在も大きな資源となっています。

今やジェンダー平等がSDGsをはじめとして高らかにうたわれていますが、日本の男性が家事育児にかかわってこなかったのは、一つには有償労働時間が極めて長いことが影響しているでしょう。先ほどのOECDのデータでも、日本の男性の労働時間の長さは、他国に比べて群を抜いていました。たとえ男性が家事や育児に関わろうとしても、時間的余裕のなさが不可能にしている側面があるのです。家族からは家事育児を期待され、家族と仕事の板挟みになっている状況の男性の姿も見逃すことはできません。

消費生活センターだより

日用品をもらいに行ったら高額契約に…高齢者をねらう催眠商法（SF商法）に注意⚠

催眠商法（SF商法）とは

閉め切った会場に人を集め、無料同然で日用品などを配り、健康に役立つ楽しい話をして雰囲気を盛り上げて冷静な判断力を失わせた後に、高額な商品を販売する商法です。

事例

久しぶりに実家へ帰ると、押し入れに大量の健康食品や布団、健康器具があった。高齢の母が「日用品がもらえる」と友人と一緒に会場に通い、次々と購入していたようだ。やめるよう説得したが、次に様子を見に行くとさらに商品が増えていて、貯金をほとんど使い果たしていた。

高齢の人へのアドバイス

▼無料・格安でもらえるという広告を見ても、うかつに会場に行かない
物をもらうと勧誘を断りにくくなります。なぜ無料・格安でもらえるのかよく考えましょう。

▼店員の優しさ・楽しさに流されず一旦冷静になる
購入額が増えるほど親身に接してくれたり、会員ランクが上がってプレゼントをくれたりします。通い続けるほどやめにくくなるため冷静に対応しましょう。

▼契約前に相談する
本当に必要な物か、老後の大切な資金を使ってまで買うべきかよく考えましょう。高額な商品の購入はその場で決めず、家族や友人に相談しましょう。

▼健康食品や健康器具で病気の治療はできない
持病がある人は購入前に医師に相談しましょう。

家族・周りの人へのアドバイス

▽悪質商法は高齢者の健康面や経済面の不安に付け込みます。日頃の見守りが大切です。
▽帰省時などに、家の中に不審な物品がないか確認しましょう。
▽催眠商法で商品を購入したときは、契約書面を受け取った日から8日間ならクーリング・オフできる場合があります。8日を過ぎても、販売方法に問題があれば契約取消しが可能な場合もあります。早めに消費生活センターへ相談してください。

問消費生活センター相談専用電話
TEL06−6998−3600（平日 9:00〜16:30）
問消費者ホットライン（土・日、祝日）
TEL局番無し 188（土・日、祝日 10:00〜16:00）